

## 「花ふけ」の因果関係調査メモ 100514

### <現在までの進捗状況>

これまでに20個体の花ふけ発症および発症していない個体について、開花中の全小花の発症部位の記載、写真撮影を行い、カルテを作成した。無発症から軽症の個体は15、重症の個体は5個体であった。

またこれら20個体について、小花柄を用いて日本植物防疫協会の簡易キットによりウイルス検定を行った。同様のサンプルを冷凍し、静岡農試用のサンプルとした。

簡易検定の結果、重症の5個体すべてが、また軽症の15個体中4個体が、ORSV,CyMVの重複感染していた。これらのことから、両ウイルスの重複感染が、発症原因の一つである可能性は大である判断された。

### <今後の方策>

要請があり次第、ウイルス検定用のサンプルを静岡農試へ送付する。

すべての個体を稲田さんのところへ移し、次回の花について発症の有無と程度を再調査し、可能であれば再度ウイルス簡易検定を行う。

(深井誠一)

### 調査研究事業担当者より

今回、深井先生にお願いして“花ふけ”の再現試験ですが、サンプル株の個体数が少ないです。今一度“花ふけ”発生株の募集を行いたいと思います。

募集期間 6月15日～7月15日

“花ふけ”発生株がありましたら担当 徳永まで連絡ください。お願い致します。

担当役員 徳永憲昭 TEL 090-3328-2878

Mail sagayouran878@bridge.ocn.ne.jp